

## 祝 おめでとうございます

### 県防犯功労表彰



永年の地域安全活動に貢献した功績に対し、塩田知事から表彰されました。

〈写真中央左〉波多野 久晴さん

〈写真中央右〉西太良地区防犯パトロール隊



### 観光振興などに対し寄附



9/28

新曾木小水力発電事業を運営する株式会社工営エナジーから、観光振興などの地域貢献費として多額の寄附をいただきました。

同社は伊佐市と「曾木の滝再生可能エネルギー創出事業実施協定」を結び、2013年の事業開始以降、環境に配慮した水力発電事業を行いながら、曾木の滝公園の振興策に多額の寄付をされています。また、市民や観光客等に対して再生可能エネルギーの啓発活動を行うなど、多方面にわたって多大な貢献をされています。

〈写真左〉

日本工営エナジーソリューションズ株式会社  
代表取締役社長 横田 裕史 氏

〈写真右〉

株式会社工営エナジー  
代表取締役社長 鷹尾伏 亮 氏

### 図書寄贈

10/6



伊佐市出身の早水丈治さんが、市に図書を寄贈してくださいました。この本は、「史上最高の教育法」というタイトルのとおり教育に関する貴重なノウハウが詰まっており、「自立した子育てをしたい人。独立起業、地元貢献したい人。子どもに教育（経験）を残したい人などにおすすめ」とのことです。市内の各小・中学校と図書館にありますのでぜひご覧ください。

9/29

### 寄附をいただきました



令和元年度に太鼓6団体で結成した「いさ太鼓まつり実行委員会」は、これまで14回の太鼓まつりを開催し、たくさんの方々に迫力ある力強い演奏を楽しませていただきました。

今回、高齢化と団員減少等もあり解散する運びとなられたことから、実行委員会の活動資金残金を市の太鼓の修理に活用していただきたいとのことで市長に手渡されました。



## 出前教室「川の教室」



田中校区

9/16



大口東校区

10/7

田中校区、大口東校区で伊佐地区内水面活動組織による「川の教室」が行われました。河川環境についての講義や、川辺で水棲生物調査を行い、カニや小魚を捕まえて観察しました。

途中、放流用のうなぎが逃げ出すハプニングもあり子どもたちは大はしゃぎ。参加した上村葵唯さん（大口東小6年）は「カップラーメンを1杯こぼすと、元の水質に戻すのにお風呂約3杯分の水が必要だということに驚いた。きれいな川を守って、放流したうなぎが大きくなって帰ってきてくれると嬉しい」と話しました。

## 収穫の秋

10/11



## 全国消防救助技術大会



8/25

第51回全国消防救助技術大会が北海道札幌市で開催されました。全国各地の予選を勝ち抜いた代表が集まる中、鹿児島県代表として伊佐湧水消防組合から、陸上の部「はしご登はん」に森山脩己消防士(入賞)、「ほふく救出」に清水優樹消防士長、満園雅昭士長、假屋寿頼消防士の4人が出場し、日頃の訓練成果を十分に発揮しました。

## 協定締結



9/20

伊佐湧水消防組合と始良伊佐地区生コンクリート協同組合が「災害時における消防用水の確保に関する協定」を締結しました。

この協定は大規模火災や消防水利の確保が厳しい火災、災害等に対し、水を載せたコンクリートミキサー車の協力を得て消防用水確保に万全を期することを目的としています。

始良伊佐地区生コンクリート協同組合理事長の藤井純博さんは「コンクリート業務以外で地域のために貢献ができるということに大きな意義と責任を感じた。これを機にさらに使命感を持って取り組んでいきたい」と話しました。

針持小学校の児童らが稲刈りを体験しました。

針持老人クラブの主催で行われているこの企画では、児童らが種まきから田植え、除草などを体験し米作りに必要な知識を学びました。

稲刈りは鎌を用いたり、かけ干しを行うなど昔ながらの方法で行われ、参加した人の中には「50年ぶりに稲を結いた」という人もいました。今後は脱穀したもち米を用いて、年末に餅つき大会を行う予定だそうです。

## お月見どろぼう

10/1



平出水校区の十五夜では子どもたちがお供えのお菓子をどろぼうします。

子どもたちは「こんばんは！お月見どろぼうです！」と挨拶をしながら、家々をまわってお菓子をたくさんもらっていました。

お月見どろぼうの後には学校の校庭で綱引きと相撲が行われ、満月の夜空には大人、子どもの元気な掛け声が響いていました。

## いつまでもお元気で



今年度百歳到達される方々へ市長が表敬訪問しました。

なかでも湧脇繁美さんは、地域で行われている頭の体操教室へ毎年参加されているとのこと。市内最高齢の参加者でいらっしゃいます。

今年度の百歳到達者は23人いらっしゃいました。長生きの秘訣を尋ねると「くよくよしない・規則正しい生活を送る・よく笑う」と、共通して言われます。

これからも、お体に気をつけて元気に過ごしてください。



## 大口高校×神埼高校交流

— 佐賀・鹿児島エールプロジェクト —



大口高校1年生と佐賀県神埼高校1年生の生徒約70人が、鹿児島国体開幕前に「ポッチャ」など3種目のニュースポーツを通じてお互いの交流を深めました。

湧水町の轟の瀬特設カヌー競技場である鹿児島国体「カヌースラローム・ワイルドウォーター競技」は、来年の佐賀国スポでも同じ会場で開催されることから、運営補助員として参加する大口高校生と事前準備を兼ねてサポートに入る神埼高校生との交流を深めようと開催されました。

生徒たちは初めて接する種目に戸惑いながらも一緒に楽しみ、絆を深めました。神埼高校1年生の福地優衣さんは「ニュースポーツは簡単そうにみえて難しかった。今回の交流を通じて他県の高校の情報などを聞いてよかった」と話しました。国体県選手団を激励するため県内各会場を巡回されていた塩田知事も交流の様子をサプライズで視察され、最後は全員で記念撮影をして締めくくりました。